

# キアシシギ

*Heteroscelus brevipes*

シギ科・旅鳥



キアシシギ

## 名前の由来

黄色の足(脚)をもっているシギだからこの名がついた。「シギ」は「騒ぎ(さやぎ)」から来ているといい(新井白石、大言海)シギの羽音から考えられたのではないかという。漢字名：黄脚鶺鴒

## 特定種

該当なし

## 形態的特徴

全長(くちばしの先から尾の先まで)27cm。上面はのっぺりした灰褐色で、飛んだときにも翼上面に全く模様が出ない。足は黄色。

鳴き声は「ピューイ、ピューイ」と特徴的で、他に「ピューーイ、ピューーイ、ピピピピピ」とも鳴く。

## 生息環境・分布

海岸の砂浜、波打ち際や干潟、河川の砂泥地や砂礫地。十勝には5~6月、8~10月に旅鳥として飛来する。

分布：ユーラシア大陸の高緯度地方の東半分のごく限られた地域に点在して繁殖分布し、インドネシア、フィリピン、ニューギニア島に渡って越冬する。

日本には旅鳥として8月~10月と5月~6月に河口部などで

## 食性

昆虫類、カニやゴカイなど。

## 興味深い話

■繁殖についてあまり分かっておらず、ヒナの世話は両親が行うという記録、オスだけの記録、メスだけの記録があ

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
十勝出現期					■	■		■	■	■		
ユーラシア高緯度(繁殖期)						■	■	■				
東南アジア他(越冬期)	■	■	■	■						■	■	■

## 参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の野鳥」高野伸二 編、浜口哲一・森岡照明・叶内拓哉・蒲谷鶴彦 著、山と溪谷社 1985 (1995 2版21刷)  
「原色日本野鳥生態図鑑(水鳥編)」中村雅彦・中村登流、保育社 1995  
「北海道鳥類目録改訂2版」藤巻裕蔵、帯広畜産大学野生動物管理理学研究室 2000

## 類似種と見分け方

メリケンキアシシギ、チシマシギ。

メリケンキアシシギは夏羽では腹部全体に波状横斑がある。冬羽では声以外でははっきり見分けられない。声はピッピッピッ……と6~10声連続する。チシマシギは胸から腹にかけて黒斑がつらなり、くちばしの基部は黄色い。

ふつうに見られる。九州、南西諸島では少数が越冬する。北海道では旅鳥。河口部。海岸近くの湖沼に飛来し、まれに内陸の河川沿いに飛来する。夏にも少数残っていることがある。

十勝地方では、主に旅鳥として8~10月と5~6月に河口、海岸付近に飛来する。

## 他生物との関わり

樹上のツグミ類の古巣に営巣した例があるという。

## 配慮事項

る。干潟や河川の砂泥地が、採餌場所、渡りの中継地として重要。

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ